

コロンビア政治情勢（2014年4月分）

2014年5月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

I 概要

【内政】

- 10日 FARCとの内戦による犠牲者に関する国際セミナーでのサントス大統領演説
- 23日 ペトロ・ボゴタ市長の復職
- 27日 大統領選挙世論調査におけるサントス大統領のリード

【外交】

- 1日 米州人権委員会に対するオルギン外相の説明（於：米国）
- 7～9日 第23回太平洋同盟GAN及びオブザーバー国との対話（於：ペルー）
- 7～8日, 15日, 24日 オルギン外相のベネズエラ訪問
- 26～27日 オルギン外相のバチカン市国訪問
- 28～30日 オルギン外相の第6回カリブ諸国連合サミット出席（於：メキシコ）
- 29日 ウマラ・ペルー大統領の当国訪問

II 本文

【内政】

1 サントス大統領の演説

10日、サントス大統領はFARCとの内戦による犠牲者に関する国際セミナーにおいて演説した。選挙運動期間中の制約が課された中での演説であったが、再選を目指すサントス大統領として、和平交渉に賭けていることを示すものであり、「我々は和平を達成せねばならない。和平が犠牲者に対する我々の最大のコミットメントである。皆が和平に賭けているように、自分（サントス大統領）も和平に賭けており、これからも和平に賭け続け、人生の最後の日まで、自分の全てを和平及び国民の皆様に賭けたい。」と述べた。

2 ペトロ・ボゴタ市長の復職

21日、サントス大統領はマリア・メルセデス・マルドナド・ボゴタ市住宅局長を（市長選挙実施までの間の）正式な市長代理に任命した。

しかし、4月1日にボゴタ市高等裁判所に対して提出されていた新たな人権保護請求に関し、22日、同裁判所は、同市長の48時間以内の復職(restitucion)を命じる判決を下し、23日、サントス大統領はペトロ・ボゴタ市長の復職を命じる政令に署名した。

3 大統領選挙世論調査

27日に発表されたDATEXCO社の世論調査において、大統領選挙の投票先は、サントス大統領28.3%、白票17.3%、スルアガ候補16%、ペニャロサ候補15.7%となった。決選投票となった場合の投票先は、サントス大統領が36.2%、スルアガ候補が26.6%とサントス大統領が優勢であった。

【外交】

1 米州人権委員会に対するオルギン外相の説明

1日、オルギン外相は米国を訪問し、ペトロ市長に対する行政監察庁による罷免決定につき、ペトロ市長の提訴を受け、米州人権委員会がコロンビア政府に対し暫定措置を要請していた問題に関し、米州人権委員会の各委員に、コロンビア政府の立場を説明した。

2 第23回太平洋同盟GAN

7～9日、第23回太平洋同盟GAN（9日）及び第15回作業部会（7～8日）がペルーで開催され、カルロス・モラレス外務次官（マルチ担当）及びクラウディア・カンデラ商工観光次官（貿易担当）が参加した。

その際、同盟の統合プロセスに緊密な関係を保ってきたオブザーバー9カ国（オーストラリア、カナダ、中国、韓国、スペイン、米国、フランス、日本及びニュージーランド）との初の個別会合を実施した。

3 オルギン外相のベネズエラ訪問

7日、オルギン外相は、UNASUR各国外相とともに同国の与野党間対話の実現を支援するために、ベネズエラを訪問した。UNASUR外相一行は、マドゥーロ大統領と会談したほか、野党連合MUDの代表者と会談した。

8日、ベネズエラ訪問中のオルギン外相は、同地においてティメルマン・アルゼンチン外相とともに、両国間の入国管理情報交換に関する協定に署名した。同協定は、人身取引等の多国間犯罪との戦いにおける一層の協力を目的とするものであった。

15日及び24日にも、オルギン外相はベネズエラを訪問し、同国の与野党間対話に参加した。

4 オルギン外相のバチカン市国訪問

26～27日、オルギン外相はバチカン市国を訪問し、26日、パロリン国務長官と会談し、コロンビアにおけるFARCとの和平交渉につき協議した。

27日、オルギン外相は、法王フランシスコ及び前法王ベネディクト16世臨席の下に、ヨハネ・パウロ2世（ポーランド出身）及びヨハネ23世（伊出身）の二人の元法王を同時に列聖する式典に出席し、フランシスコ法王とも和平交渉につき短時間話した。

5 オルギン外相の第6回カリブ諸国連合サミット出席（於：メキシコ）

28～30日、オルギン外相は、コロンビア代表団長として、メキシコのメリダで開催された第6回カリブ諸国連合サミットに出席した。オルギン外相は、同サミットにおいて、観光・貿易の促進のためにカリブ諸国間の航空便の接続性向上の努力が重要である旨述べた。また、ミード・メキシコ外相及びカレラ・グアテマラ外相とも会談し、麻薬に関するグローバル政策につき協議した。

6 ウマラ・ペルー大統領のコロンビア訪問

29日、ウマラ・ペルー大統領は、第27回ボゴタ国際図書展の開幕式に出席するため当国を訪問した。ペルーは同図書展に特別招待国として招待されていた。

開幕式の前に、ウマラ大統領はサントス大統領と会談し、第1回二国間閣僚級会合開催の可能性につき協議した。また、両国を含む関係国が共同推薦しているインカの道のユネスコの世界遺産登録の進捗状況につきフォローアップを実施した。

（了）